

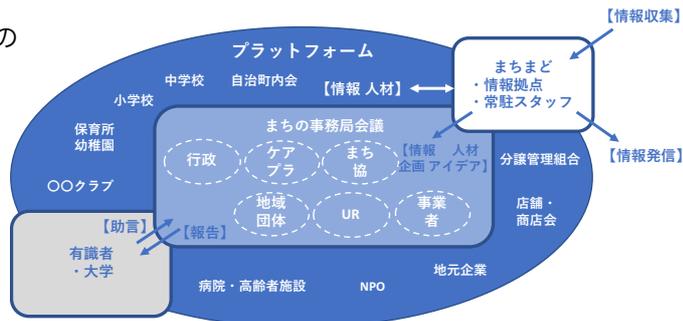
まちまどの今後について

2020.12
HITOTOWA INC.

まちまどの役割

【当初から求められているまちまどの役割】

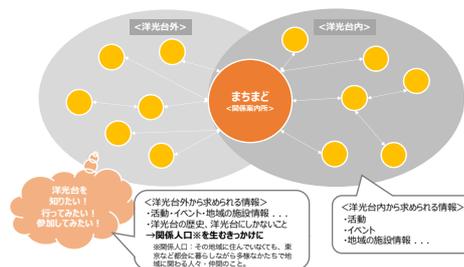
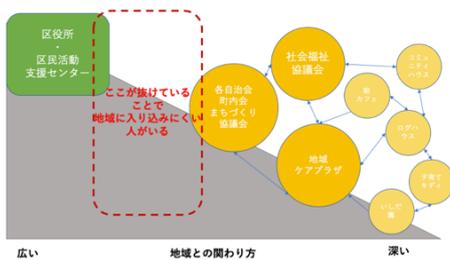
- ・エリア会議（まちの事務局会議）の窓口・推進・連携役



【運営を通して見えてきたまちまどの役割】

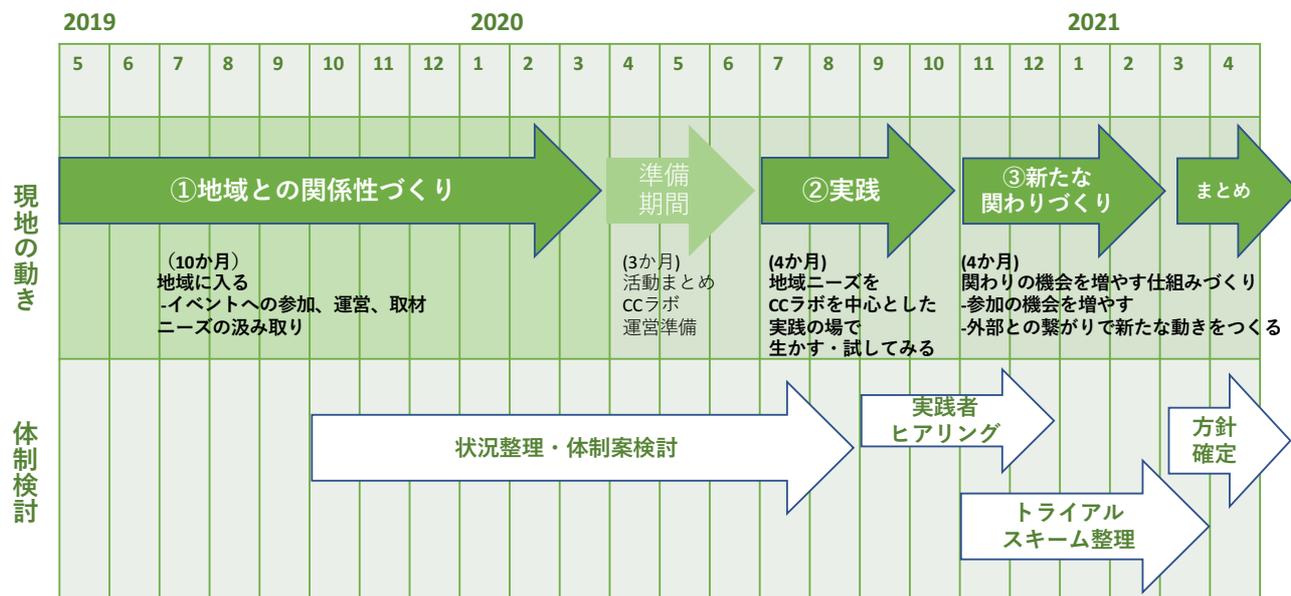
- ・地域団体につなぎ、地域へ入り込める役割をつくること
- ・洋光台内外をつなぐ役割を果たすこと

各団体のサポート段階（現状）



→上記の役割をどのような体制で実現するか？

まちまどの動き（スケジュール）



3

まちまどの動き（前回(令和2年5月)の報告と現状等）

【前回(令和2年5月)の報告】

- スタッフとのコミュニケーション等を求めた企業・団体・個人の来場者の増加等
- 地域活動や仕事・スキルを活かす場を探す方の増加
- 来場者のマッチングによる新たな地域内関係性のつながり
- まちまど運営の課題
 - ・地域の様々な情報を受け入れる仕組み
 - ・周辺団体と協働体制や情報収集体制
 - ・自立運営のための収入源

【現状と今後の可能性】

○地域活動のサポートとつながりづくり

地域ニーズをCCラボを中心とした実践の場で生かし、試す過程で、来場者の増加やマッチング等が加速した。結果、地域活動のサポートと繋がりが推進されている。

○コワーキング試行による周辺団体との協働・情報収集体制の構築

コワーキング試行などを通じて、洋光台において新たな人と人との関わりと魅力を再発見する機会をつくることや、更には周辺団体との協働体制や情報収集体制の構築の可能性について確認することができた。

○自立運営のための収入源の確保が課題

ただし、自立運営のためには、CCラボ使用料増やコワーキングによる収益体制を構築するなど更なる検討が必要である。

4

まちまどの動き（活動・つながりづくり）

まちまどが行う、地域活動のサポートと繋がりづくり

活動のヒアリング・機会の提供

まちまど来場者の方の
趣味や仕事をヒアリングし
CCラボの活用を促す



自ら周囲の人を巻き込む、
地域について考える
担い手に

自ら企画・実施してもらう

活動の発信

HP・SNSでの活動の発信
地域内交流での情報交換

一緒に企画・実施する

地域の先生講座

参加を促す

企画実現に向けてまちまど
でバックアップ
講座やワークショップの
講師となり地域でスキルを
発揮してもらう



情報を届ける

地域で暮らしている方への
まちまどのサポート

地域活動をまちまどで
わかりやすく案内することで
新たな参加者や活動者同士の
繋がりが生まれる

活動の見える化



→まちまどのコーディネートによって広がる活動づくり・繋がりづくりを
事業の核としていきたい

5

まちまどの動き(コワーキングの試行実施とニーズ把握) ①POPUP! mass×mass

POPUP! mass×mass

趣旨：洋光台において新たな人と人との関わりと、魅力を再発見する機会をつくること

目的：コワーキングほか「団地」で働くこと等についてのニーズヒアリング

期間：11月17日（火）-20日（金）

場所：CCラボ（211号室）、まちまど（212号室）

内容：コワーキングスペースの開放（17AM,18,19PM,20）

地域ツアーの実施（17PM・19AM・21AM）

懇親会（2回）

周知：mass × mass 利用登録者（メルマガ・SNS等）

mass × massホームページ、まちまどSNS等



実績

参加者数：4日間合計17名

主なご意見：洋光台には仕事が落ち着いてできるカフェ・ファミレスやコワーキングがない

ため、地域の中に仕事ができる環境があるのは良い。

6

④ POPUP ! massxmass 【期間中の企画】

ツアー

洋光台をもっと知りたい！ツアー

17日(火) PM・19(木) AM
 団地の暮らしがわかるツアー
 (エリマネ・建築デザイン・店舗・住戸内見学)



★洋光台の魅力紹介とともに、どのようなところに関心を持たれるかリサーチ

立ち寄りスタンド

コワーキング利用者の友人・知人も参加できる、輪を広げる会
 スタッフとの交流

<参加者数>

17日(火) : 10名 (洋光台在住者中心(コワーキング利用者も2名参加))
 19日(木) : 4名 (洋光台外在住者)

【ご意見・反応】

気づかなかった団地の魅力を教えてもらうことができ楽しく参加できた(洋光台在住者)。



【今後の展望・可能性】

- 利用者と各店舗の交流が生まれる。
- 洋光台外にお住まいの方の参加により、他拠点のコワーキングとネットワークを結ぶことができる。
- 利用者は自由に場所を選びながら情報交換をしつつ仕事ができる。
- 地域は関係人口の増加を見込むことができる。

まちまどの今後の体制案 (活動イメージと体制案)

まちまどのこれまでの活動とコワーキング試行実施を踏まえ、まちまどのミッションである「若年者層の流入」に向けて活動を進める(左下図参照)。また、試行実施と並行して自走に向けた体制づくりを進める。

